おひさま

発行：社会福祉法人えどがわ
東京都江戸川区松島 1-40-18
発行責任者：田澤　茂

2014 年 7 月 30 日
第 10 号

「七三の道」

社会福祉法人えどがわ
理事長　　田澤　茂
(江戸川区私立幼稚園協会会長)
(東一の江幼稚園園長)

「江戸しぐさ」というものの中に「七三の道」、「七三歩き」というものがあります。道を歩くときは 7 割を公道と思い、3 割が自分の道と心得て、他の急いでいる人の邪魔にならないように配慮することで、江戸では並んで道をふさいで歩くことは「野暮」とされていたそうです。江戸は古くからは巨大な都市でしたから、人々が気持ちよく暮らすために生活の知恵から生まれたものでしょう。

私はよく土手をサイクリングします。朝早くから散歩やジョギングの人たちがいて、通路の端を歩いてもらうと走っている人も自転車も走りやすいものです。しかし時折、通路の真ん中を横並びで楽しそうにおしゃべりをしながら歩いている人がいます。後ろにつく人は通れずに少しイライラしています。そういう中には年配の方が多く、「いまの若い者は」ということを聞きますが、人生を達観した人たちも他人のことを気にするのを忘れてしまっていることがあるのです。人に配慮する気持ちを持つことは年齢に関係ないようです。自分たちだけの道路でないことを自覚しましょう。また、歩道はいくら自転車通行可でも、あくまでも歩行者が優先であること、自転車に乗っていることを自覚していれば、さも歩行者が邪魔であるかのようにベルを鳴らしてスピードで走り抜けるのは「絶対にやってはいけないこと」だと気が付くと思います。特に朝夕の子どもの送迎や通勤通学の時間帯に自転車優先であると勘違いしている自転車を見かけます。ちょっとした心配りをすることで気持ちよく利用や生活ができると思います。

世の中は 1 人で生活しているのではないのです。お互い気持ちよく生活するためにはどうしたらよいかということを機会あるごとに家族間で話し合っていきましょう。「お巡りさんに怒られるから」「あのおじさんが見ているよ」ではなく、どうしたらよいかということを分かりやすく説明してあげることで、子どもより理解が深まると思います。

おひさま交流運動会を行いました

第2回おひさま交流運動会を5月29日、14園のおひさま保育園5歳児390名が参加し、開催しました。今回は、おひさま保育園園児同士、職員同士の交流を目的とし、担当職員が企画、話し合いを行い、進めてきました。子どもたちも他のおひさま保育園の友だちと会え、一緒に競技へ参加できることにわくわく胸を躍らせていました。

当日は天候に恵まれ、子どもたちも職員も青空のもと身体を動かすことの気持ち良さや大勢で交流する楽しさを目一杯感じることができました。

おひさま交流運動会が無事終え、子どもたちの笑顔をたくさん咲かすことができたのは、関係者をはじめ、皆様の協力のおかげだと感謝しています。

また、お忙しい中、応援に来てくださいました皆様、本当にありがとうございました。帰りのバスの中で子どもたちの満足げな顔を見て、心から嬉しくなりました。

今年度の反省を活かし、おひさま保育園同士の繋がりを大切に、今後も更によりよいおひさま交流運動会を行っていきたいと思っています。

西篠崎おひさま保育園　副主任　仲　哲矢

プログラム

❖大玉送り	大玉に大興奮の子どもたち。力を合わせて大玉を送りました。
❖玉入れ	職員が持っているかご目がけて玉入れをしました。 紅白玉を数えているときのキラキラした目が印象的でした。
❖かけっこ	みんなの声援が飛び交い、盛り上がりました。
❖おたのしみ交流会	全園児参加の大玉中当てをしました。

法人懇談会を行いました

６月９日、タワーホールにて社会福祉法人えどがわ懇談会が開催されました。

当日は、おひさま保育園 16 園、総勢 300 名の職員が集まり、日頃より大変お世話になっております当法人役員、江戸川区役所の皆様にお越しいただきました。

懇談会では、理事長、来賓の皆様から温かい挨拶を頂戴しました。副理事長の乾杯の発声後は、清新おひさま保育園、東小岩おひさま保育園職員による楽しい余興をはさみながら始終和やかな雰囲気の中で皆様と懇談を深め、最後の締めには前理事長、前副理事長より激励の言葉を頂戴して閉会となりました。

結びに当法人役員の皆様、江戸川区役所の皆様におかれましてはお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございました。未来の担う子ども達のために職員一同、精一杯努力してまいりますので、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

葛西おひさま保育園　園長　神宮　敦

園長就任挨拶

北葛西おひさま保育園
園長　齋藤　久美

平成 26 年 4 月 1 日より北葛西おひさま保育園の園長に就任いたしました齋藤久美です。

当法人には、平成 20 年に入職し、新堀おひさま、葛西第二おひさま保育園と南葛西おひさま保育園では民営化の引継ぎを経験させていただきました。子どもたちや保護者の皆様、区立の先生方、おひさまの職員…。この出会いと学びの 6 年間は保育の楽しさと大切さを再認識した、かけがえのない宝物となりました。

そして現在、温かく迎えてくださった皆様と頼れる仲間に感謝しながら、新たな職務の喜びと責任を日々感じております。これまで同様、安全で楽しく、そして伸び伸びと自分らしく過ごせる園作りを進めてまいります。子どもの気持ちに寄り添い、受け止め、信じて応援していくことの大切さは、悩み多き我が子の子育てを通して教えてもらったことでもあります。

一人ひとりを尊重し、様々なことに挑戦する意欲を育てられるよう頑張ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

東小岩おひさま保育園
園長　高石　昌子

平成 26 年 4 月 1 日より東小岩おひさま保育園園長に就任いたしました高石昌子です。

東小岩おひさま保育園は善養寺、江戸川の土手、公園などの周辺環境にとても恵まれ、子どもも大人も自然と共存ができ、また地域の皆さんとのコミュニケーションを大切にできる場所であることを嬉しく思っております。

保育園は人と人との繋がりができる場所。楽しいこと、嬉しいこと、頑張ったこと、できたことを共に喜び、挑戦する気持ち、応援する気持ちを共感できる。そして困ったとき、悩んだときに一緒に考えてくれる人がいる場所でありたいと思っています。子どもたちだけでなく、大人にとってもそう感じられる場所を目指します。

先日、「子どもは未来の宝物。その子どもたちにたくさんの愛情を注いでくれる大人も宝物。」という言葉に感銘を受けました。日々、いろいろなことにご協力をいただいている皆様に感謝の気持ちを忘れず、心に寄り添っていけるよう志ますので、どうぞよろしくお願いいたします。

園長就任挨拶

西篠崎おひさま保育園
園長　猪狩　明美

「大きくなったら何になるの？」と聞かれたら決まって「保育園の先生！」と答えていたことを思い出します。今、私が園長としていられるのは、たくさんの方々の支えがあったからです。新人で何もわからない私を優しく見守り、指導してくださった諸先生方のおかげだと感謝しています。今もいろいろな夢を持って日々奮闘していますが、子どもたちにも、たくさんの夢を持って、諦めずに努力してほしいと思います。

一生のうちの大切な５年間、私ができることは、本当に小さなことですが、子どもたちが夢を諦めずに進んでいけるように心も身体も逞しくを願って日々保育しています。感謝の気持ちや優しい心を多くの事柄から経験してほしいです。私がたくさんの方々にしていただいたことを保護者の皆様や子どもたちに伝えていきたいと思っております。

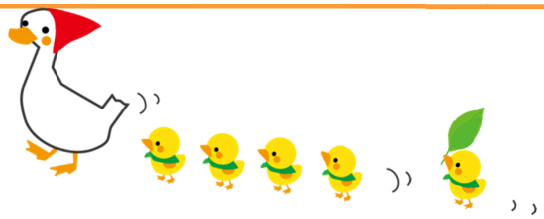
いつも笑顔で、謙虚な気持ちと向上心を持って、園長として努力したいと思います。

松本おひさま保育園
園長　杉本　奈緒美

この度、松本おひさま保育園の園長に就任いたしました杉本奈緒美です。

東京オリンピックの年に江戸川区に生まれ江戸川区で育ちました。アルバムを開くと父に抱かれ蔵前通りを聖火が通る様子を見ている写真があります。現在に至るまで、親水緑道や篠崎公園に近い鹿骨おひさま保育園、影向の松や江戸川土手脇の東小岩おひさま保育園、千本桜と旧中川の流れにスカイツリーを目前に臨む小松川おひさま保育園、着任してきたおひさま保育園は、自然の美しさもさることながら、温かい保護者の皆様とかわいい子どもたちのいる素敵な園でした。そして今、松本弁天に見守られているかのような松本おひさま保育園に着任し、毎日、子どもたちの元気な笑い声と保護者の皆様、職員のほんわかムードの中で過ごしています。

これからも精一杯保護者の皆様と子どもたちの健やかな成長を見守っていけるよう頑張ります。お願いいたします。



決算報告

貸借対照表
平成26年3月31日現在

社会福祉法人　えどがわ　　（単位：千円）

資産の部	当年度末	前年度末	増減	負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	812,501	663,617	148,884	流動負債	74,637	88,444	−13,807
現金預金	778,052	657,049	121,003	短期運営資金借入金	0	0	0
有価証券	0	0	0	未払金	59,284	53,599	5,684
未収金	32,717	5,268	27,449	預り金	15,352	34,844	−19,492
貯蔵品	0	0	0	前受金	0	0	0
立替金	164	0	164	短期借入金	0	0	0
前払金	1,052	1,021	32	仮受金	1	0	1
短期貸付金	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
仮払金	516	280	237		0	0	0
その他の流動資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
徴収不能引当金(△)	0	0	0				0
固定資産	590,182	544,310	45,872	固定負債	72,594	61,902	10,692
基本財産	49,000	49,000	0	設備資金借入金	0	0	0
建物	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
建物附属設備	0	0	0	退職給与引当金	72,594	61,902	10,692
減価償却累計額(△)	0	0	0		0	0	0
土地	0	0	0	負債の部合計	147,230	150,345	−3,115
基本財産特定預金	49,000	49,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	541,182	495,310	45,872	基本金	49,000	49,000	0
建物	0	0	0	基本金	49,000	49,000	0
建物附属設備	3,650	0	3,650	国庫補助金等特別積立金	16,561	18,119	−1,558
構築物	13,440	11,058	2,381	その他の積立金	398,146	371,440	26,706
機械及び装置	0	0	0	人件費積立金	69,000	69,000	0
車輌運搬具	807	1,056	−249	修繕積立金	7,000	7,000	0
器具及び備品	51,671	49,276	2,395	備品等購入積立金	0	0	0
減価償却累計額(△)	0	0	0	設備整備等積立金	193,700	174,700	19,000
土地	0	0	0	退職共済積立金	0	0	0
権利	0	0	0	その他の積立金	128,446	120,740	7,706
ソフトウェア	286	0	286	次期繰越活動収支差額	791,746	619,023	172,723
長期貸付金	0	0	0	次期繰越活動収支差額	791,746	619,023	172,723
退職共済預け金	72,594	61,902	10,692	(うち当期活動収支差額)	199,429	231,704	−32,275
共済財団退職金預け金	0	0	0				
保育所繰越積立預金	133,500	133,500	0				
その他積立預金	128,446	120,740	7,706				
保育所施設・設備整備積立預金	136,200	117,200	19,000				
退職共済積立預金	0	0	0				
その他の固定資産	589	579	10				
徴収不能引当金(△)	0	0	0	純資産の部合計	1,255,453	1,057,582	197,871
資産の部合計	1,402,683	1,207,928	194,756	負債及び純資産の部合計	1,402,683	1,207,928	194,756

資金収支計算書
(自)平成25年4月1日　(至)平成26年3月31日

社会福祉法人　えどがわ　　（単位：千円）

勘定科目			予算	決算	差異
経常活動による収支	収入	利用料収入	0	0	0
		運営費収入	1,397,984	1,403,648	−5,664
		私的契約利用料収入	17,030	17,529	−499
		経常経費補助金収入	1,105,617	1,107,081	−1,463
		寄附金収入	129	49	80
		雑収入	30,656	30,003	653
		借入金利息補助金収入	0	0	0
		受取利息配当金収入	216	294	−78
		経理区分間繰入金収入	42,081	42,081	0
		経常収入計 (1)	2,593,714	2,600,685	−6,971
	支出	人件費支出	1,707,547	1,701,196	6,351
		事務費支出	386,508	373,103	13,405
		事業費支出	293,348	280,751	12,597
		借入金利息支出	0	0	0
		経理区分間繰入金支出	42,081	42,081	0
		雑損失	0	0	0
		経常支出計 (2)	2,429,483	2,397,131	32,352
	経常活動資金収支差額 (3)=(1)−(2)		164,230	203,554	−39,323
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	24,188	24,189	−1
		施設整備等寄附金収入	0	0	0
		固定資産売却収入	0	0	0
		元入金収入	0	0	0
		施設整備等収入計 (4)	24,188	24,189	−1
	支出	固定資産取得支出	21,359	21,521	−162
		元入金支出	0	0	0
		施設整備等支出計 (5)	21,359	21,521	−162
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)−(5)		2,829	2,668	161
財務活動による収支	収入	借入金収入	0	0	0
		投資有価証券売却収入	0	0	0
		借入金元金償還補助金収入	0	0	0
		積立預金取崩収入	0	0	0
		その他の収入	0	0	0
		財務収入計 (7)	0	0	0
	支出	借入金元金償還金支出	0	0	0
		投資有価証券取得支出	0	0	0
		積立預金積立支出	26,706	26,706	0
		その他の支出	16,833	16,825	8
		流動資産評価減等による資金減少額	0	0	0
		財務支出計 (8)	43,539	43,531	8
	財務活動資金収支差額 (9)=(7)−(8)		−43,539	−43,531	−8
予備費 (10)			0		
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)−(10)			123,520	162,691	−39,171
前期末支払資金残高 (12)			575,174	575,174	0
当期末支払資金残高 (11)+(12)			698,694	737,864	−39,171

法人給食だより

おいしい給食　食べることが大好きな子どもを育てよう！

食べることは、生きることの基本です。食べることが大好きな子は、元気いっぱい！！給食室から、漂うだしのにおい、にんにくを炒める食欲をそそるにおい。毎日、美味しいにおいがします。そんな時間は、きまって子どもたちは「今日の給食なぁに？」と。「今日は、マーボーなすだよ。」「み～んなの大好きなつるつるうどんだよ。」と答えると、「イェーィ」と、飛びあがりながらガッツポーズをする姿をみると、食は味覚だけでなく五感を使うものだとわかります。

園の給食は、子どもたちにとても人気があります。苦手なものが食べられるようになったり、家では嫌いな献立を給食で好きになったり、小食の子がたくさん食べるようになるなど、日々たくさんの変化や成長があります。元気に遊んで、たくさん食べ、ぐっすり眠る子は意欲があってたくましい！まさに、「食べる力」は生きる力です。

これからも、一人ひとりの子どもと向きあい、ふれあいながら成長を支えていきたいと考えています。

- かしわ寿司
- 鮭のきのこマヨネーズ焼き
- わかくさポテト
- 大根となるとのすまし汁
- バナナ

人気の給食メニュー

ミルフィーユかつ

材　料（5人分）

- 豚肉しゃぶしゃぶ用　250ｇ
- 塩・こしょう　少々
- 卵　2個
- 小麦粉　50ｇ
- パン粉　適宜

作り方

①小麦粉、卵を混ぜどろどろ状に混ぜる
②鉄板にオーブンシートを敷き
　肉に塩こしょうをし、肉①肉①の順番で
　重ねていく。4段くらい重ねたら、一番
　上に①をつけパン粉をかける。
③オーブン180℃　約18分焼く。
　出来上がり！！
☆お好みのｿｰｽでお召しあがりください。

提供：株式会社　ＬＥＯＣ

リレー随筆

私のふるさとは「猛暑のまち」として有名な埼玉県熊谷市です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、2007 年には 40.9℃という気温を記録し「暑いぞ！熊谷」というスローガンを掲げ、街全体で盛り上げをみせています。また関東一の祇園として「うちわまつり」も有名です。地元に住んでいる頃は祭り囃子の練習の音が聞こえると本格的な夏の到来を感じそわそわし、家族で出掛けるのを心待ちにしていたものでした。現在、実家には両親がおり、帰省した時は、家庭菜園にて土に触れ、風を感じながら四季折々の野菜の世話を行います。収穫の時期を考え、種をまき、育ちを見守りながら大変な草取り、水やりなど丁寧に世話をしていると、不思議と心が穏やかになるような気がします。醍醐味は収穫の時。形はちょっと良くなくても新鮮取れたての野菜はとても美味しく世話の苦労も忘れるほど。

保育園でも子どもたちと一緒に収穫を楽しみたいと思います。

西小岩おひさま保育園
園長　森　晴美

研修に参加しました

子どもたちに音楽の楽しさを伝えていきたいと思い、マーチング研修に参加しました。鍵盤ハーモニカの使い方など細かいところから指導が始まりました。実際に楽器を使う中で、子どもたちへの声掛けの仕方を教えていただき、自分の中でイメージを描きながら研修を受けることができました。鼓隊指導では、パフォーマンスを取り入れ、見ている側を飽きさせない工夫がたくさんありました。音楽活動は子どもにとても大切なことの 1 つであり、研修を受ける中で周りの友だちと合わせて演奏することが相手の気持ちを考えることに繋がるのではないかと感じました。楽器を演奏し、完成させるまでには練習を重ねる必要があります。皆で一緒に音楽を奏でることにより今までに感じることのできなかった達成感を得られ、さまざまな自信にも繋がるのではないかと思いました。

この研修に参加し、音楽は私たちが考える以上の楽しさがあるのだということを再確認することができました。

新堀おひさま保育園　日野　克彦
小川　ひろえ

苦情申出について

「社会福祉法」第八十二条の規定により、当法人では利用者からの苦情等について適切に対応する体制を整えています。各園に苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を設置。個人情報に関するものや苦情申込者が拒否した場合を除き公表し苦情など解決に努めます。平成 25 年度は公表する苦情内容はありませんでした。

編集後記

毎日暑い日が続いています。保育園では暑さに負けない子どもたちの元気な声が聞こえてきます。私たち職員も子どもたちにパワーをもらい、夏を乗り切っていきたいと思います。編集委員